（８）大泉ジャンクション周辺地域課題検討会
（主催者：国土交通省、東京都、練馬区）

１）　地域課題検討会の概要

①地域課題検討会の開催経緯

○募集メンバー、募集期間

- 地域課題検討会のメンバーは公募により募集しました。
  - ・対象地域：大泉学園町１、４丁目、東大泉１～３丁目、大泉町１～６丁目、
    土支田２～４丁目、三原台１～３丁目、谷原４～６丁目、
    石神井町２、４、８丁目、高野台５丁目に在住の方
  - ・募集期間：平成 20 年 2 月 11 日～平成 20 年 3 月 10 日
  - ・メンバー登録人数：123 名

○第 1 回　平成 20 年 3 月 29 日(土)14：30～18：00　参加人数 93 名
会場：練馬区立三原台中学校　体育館

- 第 1 回目では、まず、外環の概要、地域課題検討会の趣旨と進め方についての説明が行われました。その後、全体進行役の進行によって、メンバーがグループごとに議論を行いました。
  グループ検討では、会の進め方に関する意見や地元に住まわれている方々の視点から、外環への具体的な懸念などについて意見が出されました。

【検討テーマ】
- ・地域課題検討会の趣旨、検討の進め方についての確認
- ・外環整備に関する地域の具体的な懸念及び地域が求めること

○第 2 回　平成 20 年 5 月 24 日(土)　10：00～17：30　参加人数 62 名
会場：練馬区立泉新小学校　体育館

- 第 2 回の開催に先立ち、午前中に現地見学会が行われ、地域課題検討会のグループごとに分かれて、大泉ジャンクションの計画地周辺を歩き、現状や地域情報について確認しました。
  また、午後の検討会では、第 1 回の検討内容や進め方に関する確認がなされたあと、前回に続き地域の懸念や期待することなどについて、グループごとの検討を行いました。午前中の見学結果も活かしてテーマや場所ごとに論点を絞って話し合い、最後の全体発表で、各グループの話し合いの結果を共有しました。

【検討テーマ】
- ・外環整備に関する地域の具体的な懸念及び地域が求めること

○第 3 回　平成 20 年 7 月 13 日(日)　9：00～13：30　参加人数 65 名
会場：練馬区立泉新小学校　体育館

- 第 3 回地域課題検討会では、はじめに参加者の皆様から前回頂いたご意見を踏まえて、地域課題検討会の進め方の考え方や改善した点などを説明し、次に前回までに議論して頂いた「外環整備に関する地域の具体的な懸念及び地域が求めること」の成果を踏まえて、主催者が「検討すべき課題(案)」を提示しました。
  これをもとに、グループごとに今回のテーマ「課題解決のための考え方の方向性と課題の検討時期等」について、“ 場所や計画の段階ごとにどんな配慮が求められるか ” 等の検討を行い、全体発表を通じて各グループの検討結果を共有しました。

【検討テーマ】
・課題解決のための考え方の方向性と課題の検討時期等

○第 4 回　平成 20 年 10 月 13 日(月・祝日)　13：00～18：00　参加人数 63 名
会場：練馬区立泉新小学校　体育館

- 第 4 回地域課題検討会では、第 3 回で議論して頂いた「課題解決のための考え方の方向性と課題の検討時期等(案)」の成果を踏まえて、新たに主催者が「課題への対応の方向性と検討時期等(案)」を提示しました。グループ検討では、その内容を確認のうえ、“ 課題に対しての具体的な解決策 ”、“ 今後詳細に検討する段階において検討の進め方や住民の関わり方 ” 等について検討を行いました。
  全体発表では、各グループごとにこれまでの議論の総括として発表して頂き、これまでの検討を共有しました。

【検討テーマ】
・課題解決のための考え方

②地域課題検討会の検討プロセス

頂いた意見は、外環整備に伴う地域の課題の解決に向けた対応の方針を検討するにあたり可能な限り反映します。また、対応の方針とりまとめ後も、各段階ごとに引き続き地域の意見を聴きながら、より具体的な対応について検討します。

なお、地域課題検討会の進め方の例は以下の通りです。

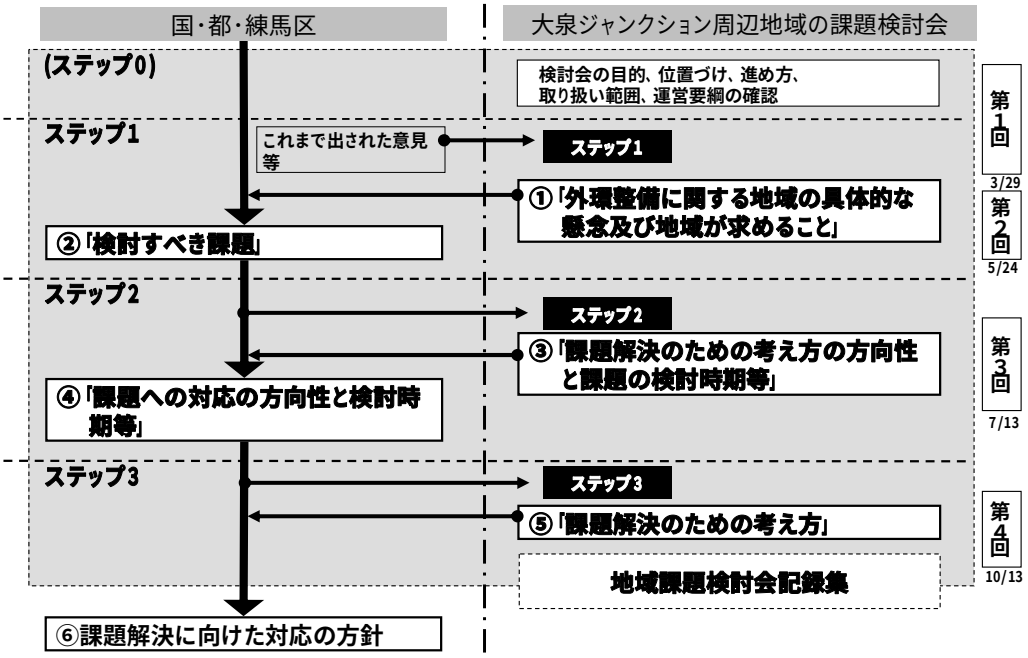

図 大泉ジャンクション周辺地域の課題検討会の進め方

〈ステップ１〉

①外環整備に関する地域の具体的な懸念及び地域が求めること

- 外環計画が具体化した際、地域にとっての懸念や期待を住民の視点でまとめたものです。

②検討すべき課題

- 「外環整備に関する地域の具体的な懸念及び地域が求めること」の意見の趣旨を踏まえて、主催者が外環事業やまちづくりを検討する上でそれぞれの立場から現時点で認識した課題を交通、環境などのテーマで分類しまとめたものです。

〈ステップ２〉

③課題解決のための考え方の方向性と課題の検討時期等

- ステップ２において、各グループで議論いただいた成果となるものです。
- 本文は、これまでグループごとに各メンバーが議論した内容を「調査、計画、工事、その他」に分けて運営事務局が整理した部分（箇条書きの部分）と、その議論を踏まえて各グループの進行役が整理した枠囲み部分とで構成されています。

④課題への対応の方向性と検討時期等

- 外環計画が具体化した際の大泉ジャンクション周辺地域の基本的な方向性と、課題への対応の検討時期を整理したもので、「課題解決のための考え方の方向性と課題の検討時期等」を受けて、主催者としての現時点での認識を示したものです。

〈ステップ３〉

⑤課題解決のための考え方

- 課題解決のための具体的な考え方（アイデア）等を住民の視点でまとめたものです。

⑥課題解決に向けた対応の方針

- 検討すべき課題に対する具体的な考え方（アイデア）等を踏まえて、課題に対する対応の方針を示したものです。

※課題検討会で頂いた意見につきましては、参考資料をご覧ください。